

生育停滞打破の鍵は「カリ」

～フルボショットとの併用で効果アップ～

気象庁の1ヵ月予報では、偏西風の蛇行によって平年よりも東日本の気温は高く、西日本は低くなると予想されています。マクロ的には低温の模様です。露地野菜は、昨年秋の高温による生育不良の影響が今も続いています。さらに低温が続くと年明け出荷野菜の生育が停滞してしまいます。また施設野菜では、燃料への補助金削減によって、加温温度を下げる動きが見られます。そうすると生育停滞が懸念されます。

その対策として、カリの積極施用による転流・肥大促進のため「カリショット」や「タキPK液肥」の葉面散布や灌水施肥をお勧めしております。

そこに、もう一手間かけて「フルボショット」を混用すると更に効果が高まります。「フルボショット」の主成分であるフルボ酸は、分子量が小さく自身の何倍もの大きなミネラルをキレート化する効果があります。「カリショット」や「タキPK液肥」と一緒に葉面散布することで、カリなどの養分が植物の必要な場所に素早く届けられ、低温下でも生育を促進する効果が期待できます。ぜひ、「カリ」と「フルボショット」の活用をご検討ください。



図1 フルボショット 2ℓ ポリビン

施肥量：

葉面散布：**カリショット** もしくは **タキPK液肥** 500倍+**フルボショット** 500倍

かん水施肥：**カリショット** もしくは **タキPK液肥** 5kg+ **フルボショット** 1kg/10a

【公式 YouTube チャンネル（肥料の寺子屋）】 チャンネル登録をお願いします。

ホームページ <https://www.takichem.co.jp/> メールアドレス aguri@takichem.co.jp

